

第64回全油販連定時総会開催

日時 平成29年10月20日（金）14：30～18：30
場所 ロイヤルパークホテル 琥珀の間・瑠璃の間・クラウンの間

総会では28年度事業・決算報告および29年度事業・予算計画が原案通り承認された。総会后、食文化史研究家永山久夫氏が「人生は面白い、よいあぶらを毎日にとって100歳、100歳」をテーマに講演が行われた。「人生100年時代」の長寿法知恵ある人は「油」を選び「食」を選ぶ、キーワードは『胡豆魚油根茶』（ごまさかあぶこんちゃ）。[胡＝黒ゴマ・クルミ 豆＝イソフラボン・レシチン・サポニン 魚＝DHA・EPA 油＝えごま油・ごま油・オリーブ油 根＝油の効果を高める食物繊維 茶＝緑茶・コーヒー]という造語を紹介し、食事法として健康性が高いこれらを積極的に摂ることが長寿に良い影響を与えると説明があった。



永山久夫氏の講演



講演を聴く出席者



その後、来賓、賛助会員、会員各社をまじえ行なわれた懇親パーティーで宇田川公喜会長が「昭和28年全油販連設立時の歩みを振り返り、その当時はまだ食糧難で油脂の需要を促進するということが中心、農水省も油脂消費増審部会を作り、全油販連とともに油脂消費の増進に取り組んだ。

昭和40年代に入りファーストフード等が出現し、油脂の過剰摂取が問題となり、油は悪者とされる時期もあった。しかし、ここ数年はえごま油やオリーブ油さらには大豆油、菜種油も価値が見直されてきており、自信を持っていいのではないかと。日本の食品産業は欧米と比べ利益が低すぎるとの指摘もある。今秋の食用油価格改定は進捗が見られるようであり、今後とも価値に見合った販売を製販一体となって、心を一つにして進んでいきたい」と挨拶した。

引き続き、一般社団法人日本植物油協会の今村隆郎会長(日清オイリオグループ(株)代表取締役会長)が「まずは第64回目の総会を滞りなく終えられたことに対してお祝を申し上げます。そして全油販連の皆様には、私ども製油メーカーが大変お世話になっていることに厚く御礼申し上げます。流通市場は非常に変化が激しく全油販連の皆さまも大変な苦勞をされ、いろいろ変化に対応されてきたものと思っている。私どもメーカーも全油販連の皆さまと一緒にあって市場に対応してきたと自負している。これからも大変厳しい状況のなかではあるが、車の両輪として一緒にやっていきたいと思っている。今、業界は値上げに入っている、原料も上がっており、流通市場、消費市場はデフレということで厳しい状況にある。現在値上げ交渉を進めているが、これから少しずつ進捗していくと思っている。これからもわれわれ製油メーカーは全油販連の皆さまと一緒にあって油脂業界を盛り立てていきたいと思っている。」と来賓の挨拶をされた。

懇親パーティーは、金田康男副会長が乾杯の挨拶を行い「昔は否定された油が、体を健康に保つ上で必要なものだと評価が高まっている。われわれは健康産業の最先端にいるということに自信と誇りを持ってお客様に提案し、油の価値を認めていただき、適正な価格で買いあげていただけるよう、製販一体となって努力していきたい」と述べ、高らかに盃を上げ懇親会に移った。

最後に金田雅律副会長の油締めで散会した。



宇田川会長の挨拶



日油協・今村会長の挨拶



金田康男副会長の乾杯挨拶



農水・横島課長の挨拶



金田雅律副会長の中々挨拶



金田副会長による油締め

(写真提供 油脂特報社)